

校正ノート

No.23
2016.9

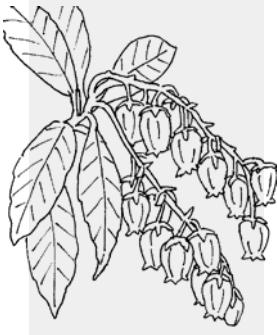


栃木県フロンティア認証企業
感動を込めて情報発信 喜びと感動をお届けする
晃南印刷株式会社
□本社・工場：栃木県鹿沼市緑町3-8-33
TEL(0289)62-4141(代)
プリプレス部 校正担当／中里(内線301)
制作／田村(内線305)
大橋(内線304)

難読語 植物編

馬酔木 アセビ(アシビ)

一説に、馬が葉を食べると足がしびれるからとか。馬が酔っているように見える



女郎花 オミナエシ

女郎はあでやかな女性のこと。中国では、モクレン・コブシを指すとのこと

桔梗 キキョウ

音読みキッコウが変化してキキョウに

連翹 レンギョウ

「堀」は高い、「翹」ははね上げること

梶子 クチナシ

梶(シ)は盆で、子は実のこと。実が大きな盆に似るから。和名は熟しても割れない=口を開かないことから

山茱萸 サンシュユ

中国語の音読み。茱萸は日本語では「ぐみ」のこと

石楠花 シャクナゲ

中国語を音読み(吳音)したもの。吳音は、古い中国の南方系の音

満天星 ドウダンツツジ

白い小さな花がたくさん咲いている形から。ドウダンは灯台からきている

合歛 ネム

夜になると葉が閉じて眠るように見えるから。合歛の字は、葉が合わさるのを結婚に見立てたのだから

辛夷 コブシ

中国語では紅紫色のモクレンのこと。和名は、つぼみが子供の拳に似ることから

竜胆 リンドウ

漢方薬の名前「リュウタン」が変化して「リンドウ」に

苧環 オダマキ

苧は麻糸のことで訓読み「お」、環は「たまき」でリング状のもの。花が麻糸を巻いたものに似るから



木瓜 ポケ

実が瓜の形をしているところから。音読みボッカが変化してポケに

土筆 ツクシ

頭の部分を筆の先にたとえる、日本独自の表記

木槿 ムクゲ

和名は、木槿の音読み=モッキンが変化したものとか

躑躅 ツツジ

躑躅(てきちく)は、「行ったり来たりする」こと。ツツジには毒があり、ヒツジが食べるふらふらするとの説がある

射干 シャガ

射干の音読み=シャカンが変化してシャガ

蒲公英 タンポポ

中国語に和名を当てはめた

繁縷 ハコベ

繁縷は長い糸が絡まっていること、茎の印象か。和名は、一説に「はびこる」から

凌霄花 ノウゼンカヅラ

凌は「しのぐ」、霄は「そら」で、つるが空高く登っていくさまを表す。凌霄「ショウウリョウ」が「ノショウ」→「ノウゼン」に変化した



同音異義語・同訓異義語の使い分け、似た言葉で間違いやすい使い方等、校正中これでいいのかともやもやした気持で仕事を進めると後悔が悪い。調べると宙に舞っていた言の葉の意味がひらりと掌に落ちて、すっきりする。

動物の 数え方

もともと匹で数えていたが、明治時代に英語の"head"

=頭という言い方が入ってきて、大きさによって匹と頭を

匹・頭の違い

使い分けるようになった。

『数え方の辞典』(小学館)によると、鳥類を除く動物一般は匹で数える。ただし、人間が抱えられない大きさのものは頭で数える。学術的には頭で統一している。おおまかの目安は、人間が抱きかかえられるか否かが、使い分けられる基準となる。

南越谷祭

先日、南越谷のお祭りへ行ってきました。南越谷の阿波踊りがとても有名のことだったので、観覧してきました。その迫力に圧倒されました! いつか自分にもわかつに参加して踊ってみたいですね。(プリプレス部 田村)

栃木市 金魚湯(玉川の湯) かつ歩さんば vol.04

歳の街栃木市のミツワ通りにある明治22年創業、薪焚きの銭湯です。幼い頃、通った思い出があります。テレビなどで紹介されているので知ってる方も多いのでは? 隣接の食堂で名物「じゃがいも入り焼きそば」もいただけますよ。



9月歳時記

- 7日(水) 白露 二十四節気の一。この日から仲秋
9日(金) 重陽の節句 陽の数九が重なることから。菊の節句とも
10日(土) 二百二十日 雜節の一。二百十日同様、台風の厄日
15日(木) 十五夜 団子は満月の見立て、ススキは魔除け
19日(月) 彼岸の入り 秋分の日の3日前
敬老の日 多年にわたり社会に尽力してきた老人を敬愛し、その長寿を祝う
22日(木) 秋分の日 彼岸の中日。祖先を敬い、故人を偲ぶ
25日(日) 彼岸明け 秋分の日の3日後

- ・白秋 中国の陰陽五行説では、秋の色は「白」。ちなみに、春は青、夏は赤、冬は黒。
・ススキの葉は鋭いので、手を切ってしまうことがある。この鋭い葉から、魔除けの意味を持つようになった。
・彼岸花 曼珠沙華(まんじゅしゃげ)とも。曼珠沙華は仏語で、天界の花。白色柔軟で、これを見る者はおのずから悪業を離れるといふ。

